震災２年後の職能団体として

災害支援の在り方についてのアンケート

（一社）熊本県社会福祉士会　災害時支援委員会

**Ⅰ．基本的な事項についての設問です。**

　Q１．性別　　　□男性　□女性

　Q２．年齢　　　□20代　□30代　□40代　□50代　□60代　□70代

　Q３．熊本地震当時の居住地及び職場の場所を教えて下さい。

居住地　　(　　　　　　　) 市・町・村　（　　　）区

職場　　 ( 　 ) 市・町・村　（　　　）区

　Q４．仕事分野　□高齢　□障害　□医療　□児童　□行政

　　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　Q５．社会福祉士会以外に職能団体に所属していますか。

□はい　　□いいえ

　　　Q５-1.「はい」と回答された方にお尋ねします。

差し支えなければ所属している職能団体をご記載ください。

**Ⅱ．熊本地震から2年を経過した現状についての設問です。**

Q６．震災復興は進んでいると思いますか?

　　　□思う　　　□思わない

Q６-1.　Q６で『思う』と回答した方にお尋ねします。

　　　震災復興が進んでいると思う理由をお聞かせ下さい。（自由記載）

　　Q6-2.　Q6で『思わない』と回答した方にお尋ねします。

　　　　震災復興が進んでいないと思う理由をお聞かせください（自由記載）

Q７．今後復興はどれくらいの期間で終わると思われますか?

□5年以内　　□５〜１０年　　□１０〜15年　　□１５〜２０年

□２０年以上 □復興は完了した

Q８．震災後の2年で新たに行った災害時の備えは何がありますか？

　　Q8-1.　職場での備えたものが、

　　　　　□ある　　　　□ない

　　　・「ある」と回答した方にお尋ねします。

　　　　　　新たに何を備えたかお聞かせください。（自由記載）

　　Q8-2.　個人で備えたものが、

　　　　□ある　　　　□ない

　　　　　・「ある」と回答した方にお尋ねします。

　　　　　　新たに何を備えたかお聞かせください。（自由記載）

**Ⅲ.県社会福祉士会の災害時の体制にむけての設問です。**

　Q９.　2016年の熊本地震に関して、熊本県社会福祉士会が行った支援活動に

参加することが出来ましたか。

　　　　　□参加できた。　　　　　□参加出来なかった。

　　Q9-1.　Q9で「参加出来なかった」と回答した方にお尋ねします。

　　　　　　参加出来なかった状況をお聞かせ下さい。（複数回答可）

　　　　　　　□自身・家族のことで精一杯だった。

　　　　　　　□職場が被災していた。

　　　　　　　□職場の災害支援及び業務で精一杯だった。

　　　　　　　□他の職能団体で支援活動を行っていた。

　　　　　　　□県士会の支援活動の情報が分からなかった。

　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　）

　Q10.　熊本県が被災した場合、職能団体として県士会はどのような対応が必要と思いますか。（複数回答可）

　　　□会員の安否確認 　　□支援の必要性の把握

　　　□被災状況の把握 　　□支援を行う各団体のコーディネート

　　　□支援状況の集約　 　　□支援情報の発信

　□日本社会福祉士会からの支援受け入れのコーディネート

□自治体のサポート 　　□支援を行っている会員のサポート

□避難所への支援 　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　）

　　Q10-1.　Q10で選択した項目が必要であると思われる理由をお聞かせください。（自由記載）

Q11.　今後の災害時に向け、県士会の体制整備として必要だと思う事は何ですか。（複数回答可）

　　　□HPの充実　　　　 □災害時支援マニュアル・ガイドラインの作成

　　　□定期的な災害訓練　 □事務局機能の分散

　　　□情報発信 □会員の連絡体制の確立

　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　Q12.　今後、災害活動協力員に登録することは可能ですか。

　　　□すでに登録している。　□検討している。

　　　□登録は難しい。　　　　□よくわからない

　Q12-1.　Q12で「検討している」「登録は難しい」「よくわからない」と回答した方にお尋ねします。

　　　　　どういったことが課題となっていますか。（自由記載）

　Q13.熊本地震から2年経過して、今感じる事、思う事がございましたらご記載をお願いします。（自由記載）

ご協力ありがとうございました。